

「『生きる』教育」を本気で実践したい皆さまのための



第1回

# 「『生きる』教育」研修会



日時

8/24(土) 10:00-17:30  
25(日) 9:30-16:30

場所

京都大学 吉田キャンパス  
人間・環境学研究科棟  
大講義室B23(地下)



対象

小・中・高等学校等の教員・養護教諭・管理職、  
スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、  
保育関係者、教育委員会関係者、大学教員・学生、  
社会福祉関係者(児童養護施設職員など)、医療関係者、  
子ども支援に携わるNPO関係者、企業内教育担当者、  
その他ご関心のある方(100名程度)

参加費

無料  
(懇親会費 6,000円)



「『生きる』教育」とは、子どもたちが直面する「人生の困難」を解決するために必要な知識を習得し、友だちと真剣に話し合うことで安全な価値観を育むことをめざす教育です。子どもたちにとって一番身近であり、心の傷に直結しやすいテーマをも授業の舞台にのせ、社会問題として捉えなおすとともに、授業の力で子どもたち相互にエンパワメントを生み出し、個のレジリエンスへつなげることをめざしています(参考: 西澤哲・西岡加名恵監修『「『生きる』教育」——自己肯定感を育み、自分と相手を大切にする方法を学ぶ』日本標準、2022年)。

本研修会では、「『生きる』教育」を実践したい皆さまのために、ワークショップを通して指導方法をお伝えします。また、「『生きる』教育」開発の基盤となった研究的・実践的な知見についての講演もご提供いたします。

8/24  
(土)

- 9:30~10:00 受付
- 10:00~10:45 オープニング
- 11:00~12:30 講演:「『生きる』教育」で変わる未来  
～少年院、グリ下の若者たちへの実践で学んだこと～  
辻 由起子先生(社会福祉士、こども家庭庁参与)
- 12:30~13:30 昼休み
- 13:30~15:30 ワークショップ:「子どもの権利条約って知ってる?」  
木村幹彦先生(大阪市立南市岡小学校・校長)  
別所美佐子先生(大阪市立田島南小学校・主務教諭)
- 15:45~17:30 講演:子ども虐待に関する研究の到達点と、今後の課題(1)  
西澤 哲先生(山梨県立大学人間福祉学部・特任教授)
- 18:00~20:00 懇親会(会費 6,000円)

8/25  
(日)

- 9:00~ 9:30 受付
- 9:30~12:30 講演:子ども虐待に関する研究の到達点と、今後の課題(2)  
西澤 哲先生(山梨県立大学人間福祉学部・特任教授)
- 12:30~13:30 昼休み
- 13:30~15:00 ワークショップ:「リアルデートDV——支配と依存のメカニズム」  
西村建一郎先生(大阪市立田島中学校・主務教諭)  
小野太恵子先生(大阪市立田島南小学校・指導教諭)  
田中 梓先生(大阪市立田島中学校・指導養護教諭)
- 15:15~16:15 質疑応答
- 16:15~16:30 クロージング

アクセス



人間・環境学研究科棟  
大講義室B23(地下)

お申込

下記のQRコードよりお申込みください。



お申込み締切  
7月29日(月)

但し、定員に達し次第、  
締め切ります。

京都大学大学院教育学研究科  
教育実践コラボレーション・センターE.FORUM  
e-forum@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

※本研修会は、SMBC京大スタジオのプロジェクト「貧困・格差・虐待の連鎖を乗り越える教育アプローチの研究開発と普及」の一環として行っています。本ワークショップの提供にあたっては、日本ユニセフ協会、陸前高田市、有限会社梨の木舎に、教材の利用の許諾をいただきました。株式会社日本標準には、「子どもの権利条約ハンドブック」の印刷のご協力をいただきました。本研修会の必要経費の一部については、JSPS科研費(23K25625)を用いています。ここに記して感謝申し上げます。

科研費  
KAKENHI